

2024 年度 大学院秋季入試（教育学専攻）

博士課程（前期）

専門科目 教育学・教育心理学

---

【合否判定の方法】

《外国語科目》《専門科目》《面接》

提出書類および外国語試験、専門科目、面接の成績を総合的に評価し、合否を判定する。

【合否判定の基準】

提出書類および各試験の結果を総合的に評価し、研究計画の妥当性および博士課程における研究遂行能力を有しているかを判断する。

1 試験日 2024 年 10 月 12 日

2 科目 教育学・教育心理学 （100 点満点）

3 出題意図

(1) 主要な教育問題の一つである「いじめ」に関する学術的知見を理解できているかを問うている。学校でのいじめの発生原因の説明としては、主要なものでは、四層構造論、供犠論、ヴァルネラビリティと抑止力からの説明、学級が生成する固有の秩序からの説明、などがある。これらを整理しつつ論じることが求められる。

「いじめ」の定義については、被害者の被害性を最大限に見積もった現在の文部科学省の定義とは別に、被対称性、集合性、継続性、嗜虐性などに着目しつつ、いじめ問題の特徴を浮かび上がらせるための様々な定義がつけられてきた。これらを念頭に置きつつ、最も説得力がある定義を示すことが求められる。

(2) 主要な教育問題の一つである「教育機会の社会階層間格差」に関する学術的知見を理解できているかを問うている。具体的には、進学費用の有無、学校外教育投資の多寡、学校文化と階層文化との親和性の有無、高等教育進学指向の階層差などの視点から説明することが求められる。

以上